

評価値 根拠資料 (1/2)

【指標1】道の駅からふるさと自慢館への誘導率

○目標値の設定

道の駅からまちなかへの誘導を促すという観点から、道の駅来場者に対するふるさと自慢館来館者数の割合を、目標値設定時点の0.6%から1.2%(倍程度)とする目標値とした。

○評価値

	年度	道の駅来場者数 A	ふるさと自慢館来館者数 B	割合 B/A	
実績	平成17年度	199,052	-	-	
	平成18年度	229,793	-	-	
	平成19年度	346,689	-	-	
	平成20年度	356,016	-	-	
	平成21年度	377,817	841(※10月オープン)	-	
	平成22年度	370,297	2,439	0.66%	従前値
	平成23年度	328,177	2,066	0.63%	
	平成24年度	347,507	1,829	0.53%	
	平成25年度	365,253	2,841	0.78%	
	平成26年度	376,431	7,081	1.88%	
	平成27年度	408,744	9,376	2.29%	
	平成28年度	494,806	12,969	2.62%	
	平成29年度(6～10月)	280,244	4,060	1.45%	評価値

※平成29年度は「たかはし桜公園」が供用開始となった6月以降とした。

【指標2】野沢まちなか再生プロジェクトの構成員数

○目標値の設定

野沢まちなか再生プロジェクトは誰でも自由に参加できる組織である。目標設定にあたっては、今後も活動を継続し、商店主や地区住民の賛同を得ながら参加者(協力者)を増やし、地区全体のまちづくりに対する意識を高めていくこととし、組織の構成員13名から30名とする目標値とした。

～野沢まちなか再生プロジェクトとは～

商店主、商店会代表者、商工会、一般住民等により、従前値の基準年度である平成23年度には13名で組織されていた。

平成22年に発足し、宿場町として賑わっていた頃の定期市である「六斎市」の復活、一部地区に「屋号板」の設置、独自の手法による「まちなかマップ」の作成などの活動を行ってきた。

○評価値

平成26年4月に町の観光資源を最大限に活用しながら、グリーンツーリズムやまちづくりなどの取り組みも絡めて、観光振興や地域経済の活性化を図ることを趣旨として「にしあいづ観光交流協会」が設立され、「野沢まちなか再生プロジェクト」構成員の半数以上が会員となり、活動の場を移したため、目標値を達成できなかった。

「野沢まちなか再生プロジェクト」としての活動は休止となってしまったが、観光交流協会において、プロジェクトの構成員が会長・副会長を務めるなど、組織の中心となって活動している。また、町内菓子店が町内の高校と共同で地元の特産品「車麩」を材料にしたお菓子を開発したり、商店会や商工会が本事業で整備したポケットパークや公園でイベントを開催したりするなど、本事業の実施により、まちなか活性化の機運が高まった。

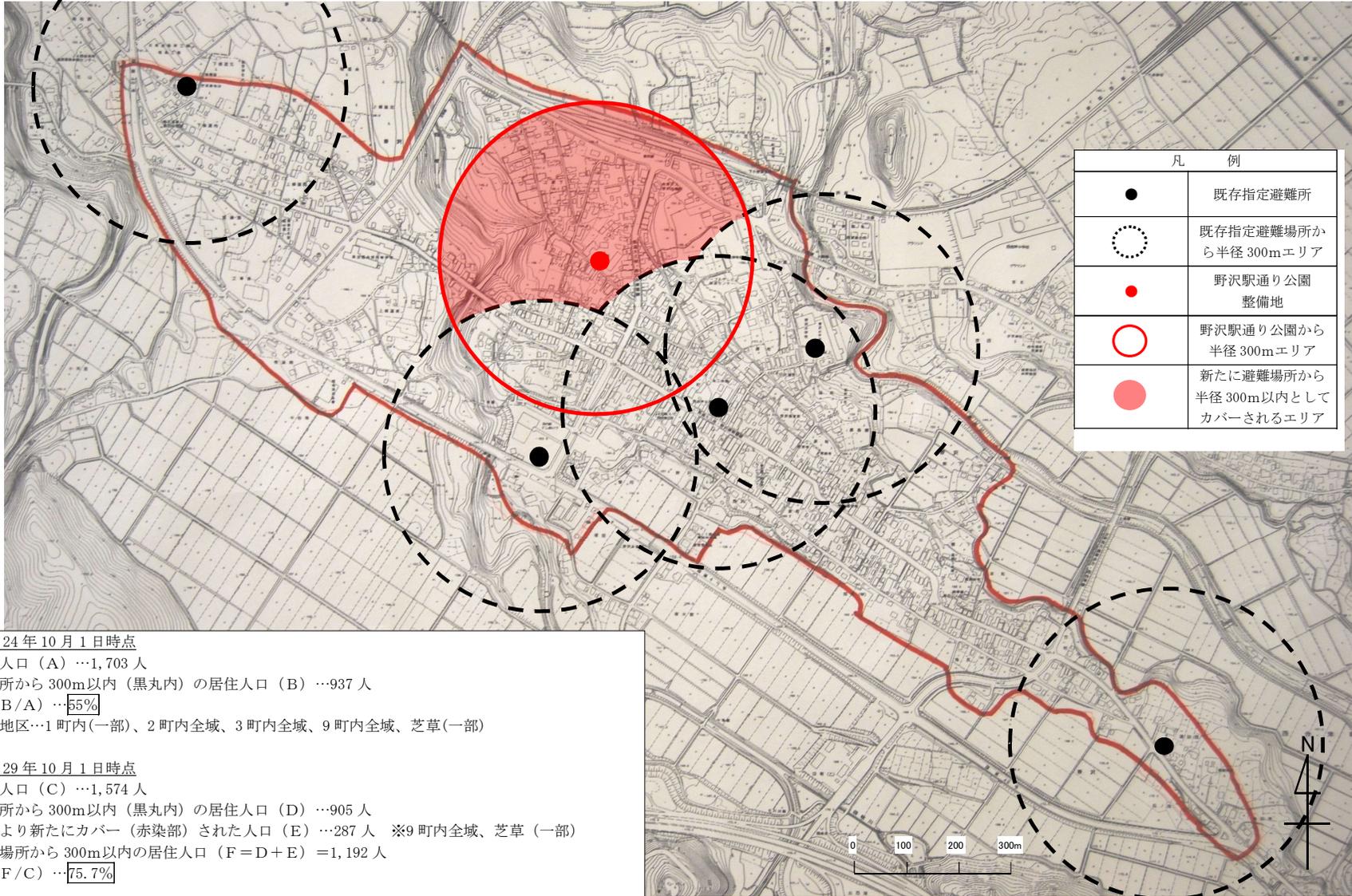
【指標3】指定避難所から半径300m以内の居住人口のカバー率

○目標値の設定

住宅密集地に指定避難所にもなる公園を整備し、都市再生整備計画区域における半径300m以内の住居人口カバー率を55%から72%とする目標値とした。

なお、徒歩5分以内に避難所への避難ができるようにするため、半径300m以内の居住人口カバー率とした。

評価値 根拠資料 (2/2)



【従前値】平成24年10月1日時点

- ・地区内居住人口 (A) …1,703 人
- ・既存避難場所から300m以内 (黒丸内) の居住人口 (B) …937 人
- ・カバー率 (B/A) …55%
- ※未カバー地区…1町内(一部)、2町内全域、3町内全域、9町内全域、芝草(一部)

【評価値】平成29年10月1日時点

- ・地区内居住人口 (C) …1,574 人
- ・既存避難場所から300m以内 (黒丸内) の居住人口 (D) …905 人
- ・公園整備により新たにカバー (赤染部) された人口 (E) …287 人 ※9町内全域、芝草(一部)
- ・全ての避難場所から300m以内の居住人口 (F=D+E) =1,192 人
- ・カバー率 (F/C) …75.7%